

会社概要・編集方針	2012年度ハイライト	トップコミットメント	金融機関として 取り組むべき優先課題	優先課題:ケーススタディ	SMFGにおけるCSR
盤石な経営体制	CS・品質向上への取り組み	環境活動	社会貢献活動	人の尊重と人材活用	各種データ集

## 金融機関として取り組むべき優先課題：ケーススタディ

### 少子・高齢化

#### 少子化問題に関する取り組み

当社グループでは、子育て支援に取り組むNPO法人を有志従業員がプロボノプロジェクトでサポートしています。



三井住友銀行では邦銀で初めて、独自のプロボノ活動(社会人がビジネススキルや職務経験を活かして行うボランティア活動)に取り組んでいます。

2012年度には、3チーム・18名の有志従業員が、約3カ月にわたって、東京都内で子育て支援に取り組む3つのNPO法人を支援しました。

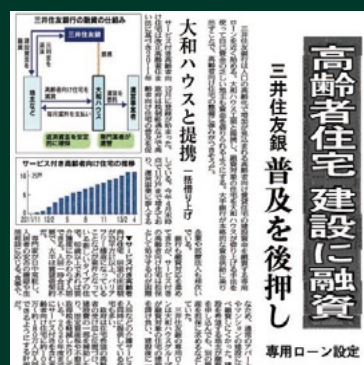
これは、寄付金や経費の管理に普段なかなか時間を割くことができないNPO法人に対して、有志従業員が事務フローや業務基盤の整備をお手伝いすることによって、本来の子育て支援業務に専念してもらおうプロジェクトです。

2013年1月に開催した、ステークホルダーダイアログ「少子化問題に関する企業への期待と役割」においても、有識者より「三井住友フィナンシャルグループには育児支援団体に対する支援をもっと積極的に行って、NPOと一緒に社会に対してオピニオンを形成して欲しい」等、多くの提言をいただきました。

当社グループは今後も、子育て支援に取り組むNPO法人の側面支援を行うことによって、少子化問題に積極的に対処していきます。

#### 高齢化問題に関する取り組み

当社グループでは、超高齢社会に向けて「介護施設提携ローン」を開発し、取り扱いをスタートしました。



2013年5月29日 日経新聞夕刊

わが国で高齢化が急速に進展しているなか、三井住友銀行は大和ハウス工業株式会社と提携して、有料老人ホーム等を融資対象不動産とする『介護施設提携ローン』を開発し、取り扱いを開始しました。

これは、超高齢社会における重要な社会基盤である介護施設の供給促進に向けて、ストラクチャードファイナンスのノウハウを活用し、介護施設を専らの融資対象不動産とする新たな融

資商品です。

今後も当行は、本商品の提携企業を増やしていくこと等を通じて、介護施設の供給促進に向けた取り組みを継続することにより、高齢者向け商品・サービスの充実を先駆的・積極的に推進し、高齢者が安心していきいきと生活できる社会の実現に貢献していきます。